

第 2 部

医療機関等調査票・集計表

I. 回収状況

211 件の医療機関を対象に調査票を配付した結果、168 件（79.6%）の回収できた。（表 1-1）。

表1-1 医療機関等調査票・集計表 回収状況

圏域	回答施設数(件)	配付数(件)	回収率
千葉	32	35	91.4%
東葛南部	32	47	68.1%
東葛北部	25	36	69.4%
印旛	15	19	78.9%
香取海匝	13	14	92.9%
山武長生夷隅	17	20	85.0%
安房	12	13	92.3%
君津	11	13	84.6%
市原	11	14	78.6%
合計	168	211	79.6%

II. リハビリテーション施設基準

回答があった医療機関のリハビリテーション施設基準の施設数を表 2 に示した。

表2:施設基準 n=168 (上段:件, 下段:%)

	I	II	III	該当無し	合計
脳血管	65 38.7%	35 20.8%	40 23.8%	28 16.7%	168 100%
運動器	114 67.9%	31 18.5%	-	23 13.7%	168 100%
回復期	21 12.5%	5 3.0%	-	142 84.5%	168 100%
亜急性期	16 9.5%	-	-	152 90.5%	168 100%

Ⅲ. 診療科目及び医師数

回答があった医療機関の診療科目を図 3-1 に、また科目ごとの医師数（常勤換算）を図 3-2 に示した。診療科目については、本調査の主たる目的である脳卒中リハビリテーションに関わりが深いと考えられるリハビリテーション科は 94 件（56.0%）、脳神経外科は 74 件（44.0%）、神経内科は 72 件（42.9%）であった。

各科医師数（常勤換算）では、内科が 1,899 人と最も多く、脳神経外科は 193 人、神経内科は 139 人、リハビリテーション科は 123 人であった。

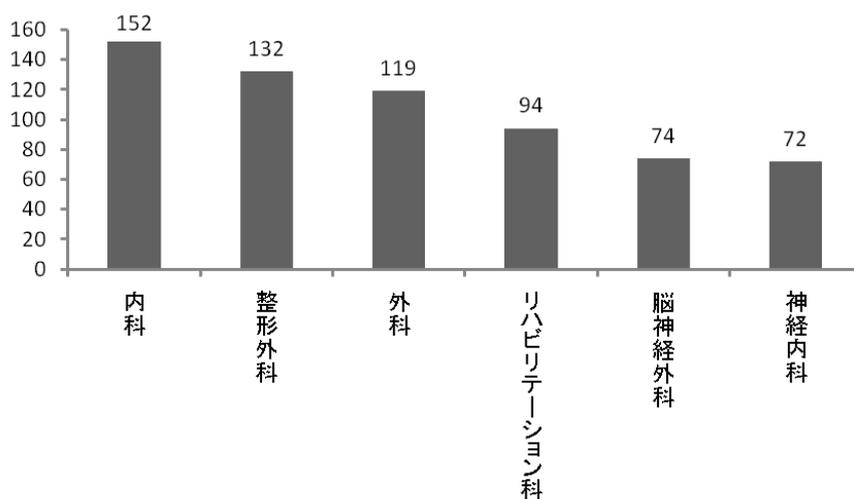


図 3-1 診療科目（重複あり） n=168 （単位：件）

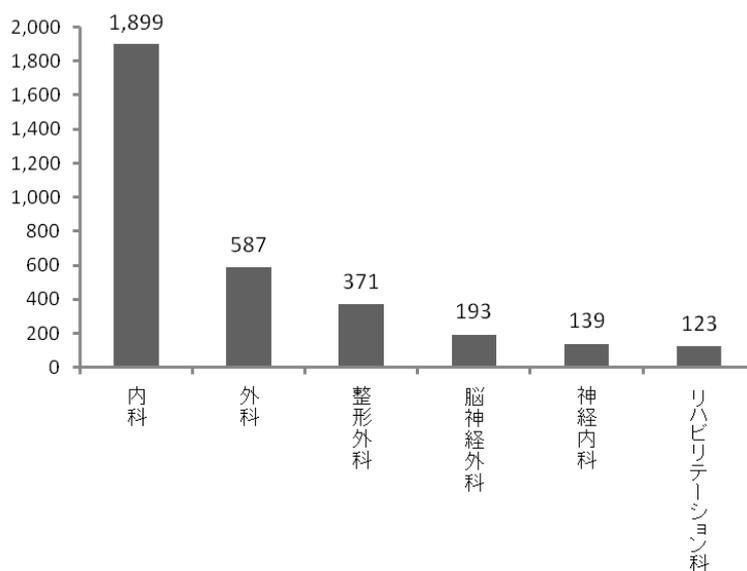


図 3-2 各科医師数（常勤換算） （単位：人）

IV. 病床基準及び病床数

回答があった医療機関が届けている病床基準を図 4-1 に、また各病床数を図 4-2 に示した。

一般病床を有している医療機関が 136 件 (81.0%) と最も多く、回復期リハビリテーション病床を有している医療機関は 26 件 (15.5%)、ICU 等は 21 件 (12.5%) であった。

病床数では、一般病床が 22,804 床と全病床数 34,305 床の 66.5% を占めており、回復期リハビリテーション病床は 1,521 床 (4.4%)、ICU 等は 439 床 (1.4%) であった。

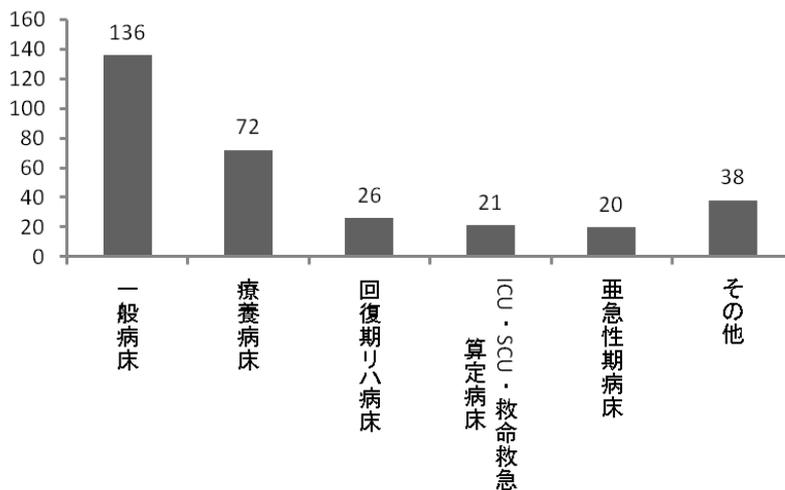


図 4-1 病床基準 (重複あり) n=168 (単位: 件)

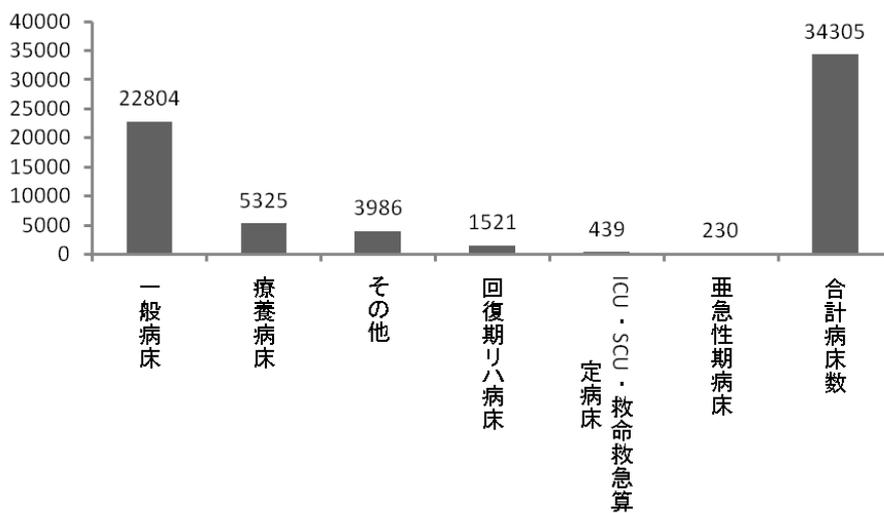


図 4-2 基準ごと病床数 (単位: 床)

V. 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士の配置

回答があった医療機関のうち 154 件 (91.7%) には「理学療法士」が、また「作業療法士」は 107 件 (63.7%)、「言語聴覚士」は 90 件 (53.6%) の医療機関で配置されていた (図 5-1)。

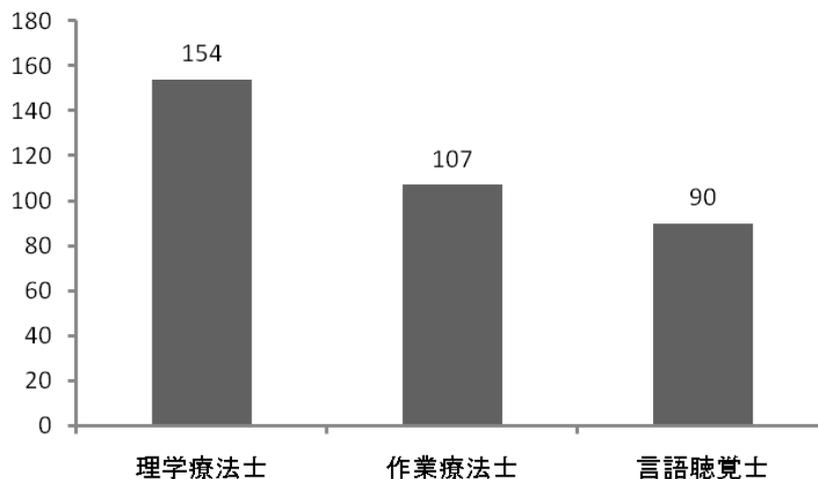


図 5-1 理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士が配置されている医療機関 n=168 (単位: 件)

また、これら三職種の合計人数は 2,201 人であり、そのうち「理学療法士」が 1,311 人 (59.6%) を占めており、「作業療法士」は 637 人 (28.9%)、「言語聴覚士」は 253 人 (11.5%) であった (図 5-2)。

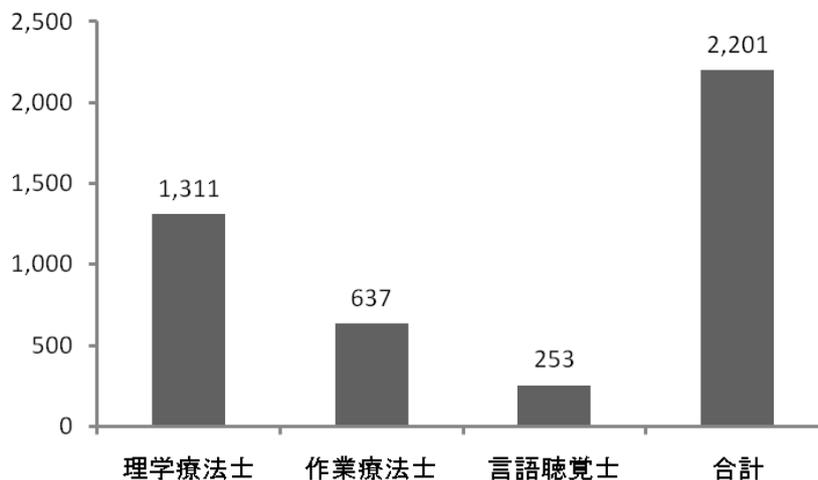


図 5-2 理学療法士, 作業療法士, 言語聴覚士 数 (単位: 人)

VI. 平成 21 年 9 月中にリハビリテーションを施行した人数

調査期間である平成 21 年 9 月中に入院リハビリテーション及び外来リハビリテーションを施行した人数を、対象区分別に表 6-1 と表 6-2 に示した。

入院リハビリテーションを施行した患者数は、脳血管疾患等が 113,037 人と全体の 67.0% を占め最多であった。

外来リハビリテーションでは脳血管疾患等は 13,419 人（24.8%）であり、運動器の 40,300 人の半数以下であった。

表6-1 平成21年9月中に入院リハビリテーションを施行した人数（上段：人、下段：%）

脳血管疾患等	運動器	心大血管疾患	呼吸器	合計
113,037	50,468	1,370	3,937	168,812
67.0%	29.9%	0.8%	2.3%	100.0%

表6-2 平成21年9月中に外来リハビリテーションを施行した人数（上段人、下段：%）

脳血管疾患等	運動器	心大血管疾患	呼吸器	合計
13,419	40,300	75	274	54,068
24.8%	74.5%	0.1%	0.5%	100.0%

VII. 平成 21 年 9 月中の脳卒中等疾患別入院患者数

調査期間中の脳卒中等の疾患別入院患者数では、脳梗塞が 7,631 人と最も多かった（表 7-1）。

回復期リハビリテーション病棟へ入院していた患者数でも「脳梗塞」が最も多く 3,014 人であった（表 7-2）。

表7-1 平成21年9月中の疾患別入院患者数（上段：人、下段：%）

脳梗塞	脳出血	くも膜下出血	頭部外傷	その他	合計
7,631	3,203	979	986	1,596	14,395
53.0%	22.3%	6.8%	6.8%	11.1%	100.0%

表7-2 平成21年9月中の回復期リハ病床への疾患別入院患者数（上段：人、下段：%）

脳梗塞	脳出血	くも膜下出血	頭部外傷	その他	合計
3,014	1,526	400	354	182	5,476
55.0%	27.9%	7.3%	6.5%	3.3%	100.0%

